

中級 UNIT25 無生物主語 名詞構文 1

無生物主語

She always makes me happy.

She always makes me happy. という文章を日本語訳してみましょう。

しこの英文の正しい訳し方は、彼女はいつも私を幸せにしてくれる、です。

では Her song always makes me happy. この文章はどうでしょうか。

同じように訳すと、彼女の歌は私を幸せにしてくれるとなりますね。

このように、主語が生物ではない文章のことを、無生物主語の文章と言います。この無生物主語の文章は、直訳をすると先ほどの例のように不自然な日本語になってしまいます。ですので、きちんとした日本語訳をできるようにしておくことがポイントです。

いくつか例をみてみましょう。

■ The test on next week forced us to study at home.

forced は force の過去形で、～を強制するという意味です。

直訳すると、来週のテストは私達に家で勉強することを強制した。となりますが、どこか不自然です。自然な日本語にアレンジしちゃいましょう、通じるように日本語訳をすることもテクニックの1つです。

来週のテストのせいで、私達は家で勉強しなければならなかった。

こんな感じでしょうか。

■ The music reminds me of my childhood.

reminds は remind の3単元の S の形で、～を思い出させるという意味です。

慣れてくれば、「英文→直訳→意味の通る日本語訳」というステップを踏む必要はもちろんありません。が、ここでは念のためにもう1度直訳をしてみましょう。

「その音楽は、私に子供時代を思い出させます。」

これでも十分に意味は通りますね。もう少しカッコよく変化させてみましょう。

その音楽を聞くと、子供時代を思い出す

こんな感じですね。

## 名詞構文

We hope that you will succeed in your research.

※あなたが研究で成功するのを祈っています。

この文は、“succeed”(成功する)という動詞に重きを置いた文です。では次の文はどうでしょうか。

We hope for your success in your research.

※あなたの研究での成功を祈っています。

今度は“success”(成功)という名詞に重きを置いています。このように文の内容を、動詞ではなく名詞に重きを置いたものを名詞構文と言います。名詞構文には3タイプありますが、ここではまず、抽象名詞を使ったものを紹介していきましょう。

### 抽象名詞

抽象名詞とは、動詞や形容詞の形を変化させて名詞にしたものを言います。例えば先ほどの“success”は“succeed”という動詞を名詞の形にしたものです。このほかにも、advice(もとの動詞は“advise”)、knowledge(もとの動詞は“know”)、wisdom(もとの形容詞は“wise”)、freedom(もとの形容詞は“free”)などたくさんあります。これらの抽象名詞をうまく使ったものが、ここで紹介する名詞構文です。

### 抽象名詞を用いた名詞構文

Do you know when he arrives?

※彼がいつ到着するのか知っていますか？

“arrive”は“到着する”という動詞ですが、これを“arrival”(到着)という名詞を使って書き換えてみましょう。

Do you know the time of his arrival?

※彼の到着時刻を知っていますか？

今度は形容詞を使ってみます。

Do you know why she is absent?

※彼女が何で休んでいるか知っていますか？

“absent”は“欠席している”という形容詞ですが、これを“absence”(欠席)という名詞を使って書き換えてみましょう。

Do you know the reason of her absence?

彼女が欠席している理由を知っていますか？